



Biz

御仕事

Eco

“恵呼化”

Models

見本帖

平成 30 年度

地球温暖化配慮行動の
主な取組み事例集

千代田区温暖化配慮行動計画書制度



目次

制度概要と経緯	3
受賞事業所	4
◇最優秀賞 三井住友海上火災保険株式会社	4
◇優秀賞 株式会社そごう・西武	6
◇特別賞 三菱地所株式会社	7
◇環境配慮賞 三幸株式会社	8
平成30年度 提出事業所	9
応募企業37社の「わが社のeco自慢」	10
大学生が作るページ この取組みがすごい!	14
編集後記	17
主な取組み事例	18
省エネ対策とコスト削減手法	19
区の主な施策	20
環境関連イベント	21
一般社団法人『千代田エコシステム推進協議会』のご紹介	22
(一社)千代田エコシステム推進協議会 会員募集	23

ご挨拶

この事例集は、千代田区、
区内在学大学生との協働に
より作成しました。



制度概要と経緯

千代田区は、平成20年1月、「2020年までに区内のCO₂排出量を1990年比で25%削減する」という目標を定めた「千代田区地球温暖化対策条例」を施行しました。また、平成21年1月には国から「環境モデル都市」に選定されました。

業務機能が集中している千代田区は、CO₂排出量の76%（2016年度）を、オフィスを中心とする業務部門が占めているため、業務部門のCO₂をいかに削減するかが課題となっています。

そこで区は、事業所の省エネ対策（ハード面）を推進するとともに、事業所が日頃から実践している環境配慮の取組み（ソフト面）をさらに進め、これからも取組みを継続してほしいという願いをこめて、平成23年度から「千代田区温暖化配慮行動計画書制度」を導入しました。

この制度は、区内の各事業所が取り組んでいる「環境活動」「環境教育」「地域貢献」などの温暖化配慮行動について、その実施状況や計画を毎年区へ報告していただくもので、今年度は272事業所から提出がありました。

他の模範となる取組みを実施した事業所を表彰します！

区は、提出のあった事業所の取組み状況を公表し、優良な取組みを表彰します。

公表および表彰することにより、各事業所の温暖化配慮行動の促進や優良な取組みの普及を図ります。（公表は、提出のあった事業所名のほか、取組み事例を掲載します。）

▶詳しくは区のHPを検索!!

千代田区温暖化配慮行動計画書制度

検索

【対象】

義務提出事業所：従業員数300人以上の事業所（特定事業所）

任意提出事業所：従業員数300人未満の事業所

※任意でご提出いただいた取組みも表彰対象になります。

千代田区地球温暖化対策推進懇談会

千代田区地球温暖化対策条例第21条第2項に基づき区民、事業者、地球温暖化対策に関する識見を有する者で構成された、区の地球温暖化対策に関する意見を聞くための組織です。

※本制度の表彰事業所を審査し、決定しています。

表彰種別

最優秀賞……省エネ、環境教育、地域貢献の取組みにおいて、最も優良な取組みを実施した事業所（対象：義務提出事業所）

優秀賞……省エネ、環境教育、地域貢献の取組みにおいて、優良な取組みを実施した事業所（対象：義務提出事業所）

特別賞……他の事業所の模範となるような取組みを実施した事業所（対象：すべての事業所）

環境配慮賞……任意で提出のあった事業所で、最も優良な取組みを実施した事業所（対象：任意提出事業所）

【書類の作成方法および提出方法】

▶詳しくは区のHPを検索!!

計画書兼報告書の作成・提出

検索

【提出期限】毎年8月末日

過去の受賞事業所一覧

平成27年度からの賞一覧	平成29年度 表彰	平成28年度 表彰	平成27年度 表彰	平成26年度までの賞一覧	平成26年度 表彰
最優秀賞	三菱地所株式会社	富士ソフト株式会社	三井住友海上火災保険株式会社	最優秀賞	株式会社みずほ銀行
優秀賞	株式会社大塚商会	日本製紙株式会社	東京センチュリーリース株式会社	省エネルギー部門賞	旭化成株式会社
—	—	—	—	環境教育部門賞	三菱地所株式会社
—	—	—	—	地域貢献部門賞	山崎製パン株式会社
特別賞	三井住友海上火災保険株式会社	旭硝子株式会社、川崎汽船株式会社、KDDI株式会社、新日鐵住金株式会社、株式会社帝国ホテル、日本大学病院、三菱地所株式会社	株式会社大塚商会	特別賞	該当なし
環境配慮賞	NECネットエスアイ・サービス株式会社	株式会社日清製粉グループ本社	日本紙通商株式会社	環境配慮賞	三幸株式会社
総提出事業所数	264	247	249	総提出事業所数	187

三井住友海上火災保険株式会社

〈所在地〉千代田区神田駿河台3-9



左：総務部 地球環境・社会貢献室
城 千聡 氏
中：総務部 地球環境・社会貢献室 課長
浦嶋 裕子 氏
右：千代田区長
石川 雅己



省エネ



▲エコ整備のしくみ

「エコアクション21」の認証取得を支援するプログラムの策定

重要なビジネスパートナーである代理店や中小企業のお客様に対して、環境省が推奨する環境マネジメントシステム「エコアクション21」の認証取得を支援するプログラムを策定し、バリューチェーン一体となった環境への取組みを推進している。

「関係企業グリーン化プログラム」への参加

整備工場の全国代理店組織「アドバンスクラブ」でエコ整備に取り組む会員を中心に、各地域の審査員が講習の実施と継続的なフォローを実施する「関係企業グリーン化プログラム」に参加して取組みを進め、環境経営に取り組んでいる。

環境教育



▲千代田区主催のクリーンアップ活動に参加する社員

環境への取組み・環境保全活動の実施状況をセルフチェック→次年度への反映

日常の環境への取組み（電力、ガソリンおよび紙の使用量削減等）や環境保全活動、社会貢献活動の実施状況について全社員が「MS&ADみんなの地球プロジェクト取組みチェック」（セルフチェック）を実施し、集計。環境マネジメントシステムの「C」（チェック）機能として次年度の取組みに反映させている。



▶MS&ADみんなの地球プロジェクトのオリジナルロゴマーク

地域貢献

「ECOM駿河台」や屋上庭園における環境啓発活動の実施

- ①環境コミュニケーションスペース「ECOM駿河台」において、小学校の児童が作成した環境啓発ポスターの展示や環境関連・環境啓発イベントを実施している。
- ②屋上庭園を常時開放。毎月第2木曜日にはだれでも自由に参加できるバードウォッチングを開催。
- ③屋上に設置した水田を近隣の小学生の稲作学習のために貸与し、環境学習に貢献している。



▲にぎわう「神田学生街の記憶 五大法律学校の軌跡」

◀ECOM駿河台からさまざまな環境・地域情報を発信



▲双眼鏡で鳥を観察！朝のバードウォッチング



▲「大きく育つかな」元気に田植えをする小学生たち

学生の感想

私たちが驚くような数多くの環境への取組みが行われていました。屋上庭園では、鳥や昆虫を呼びよせるための植樹がされています。また、庭園にある桜の木での地元の小学生とのお花見や、自然をテーマとした「大人の写真撮影」など、子どもから大人向けの様々なイベントが開催されています。

MS&ADラムサールサポーターズでは、地元のNPOとともに地域保全活動に取り組んでいると聞き、その地域ならではの地域保全活動が出来るので、とても効率的で素晴らしいと感じました。

さらに、保険契約を行うにあたって多くの紙を使用してしまいましたが、web約款の推奨や、電子会議システムを導入することで、紙の使用量削減やCO₂の削減に貢献していました。

会社だけでなく、お客様とともに事業を通じて環境問題の解決に取り組む姿勢に感心しました。

大妻女子大学3年
井口 さやか
鈴木 咲也香
中田 麻衣子



株式会社そごう・西武

〈所在地〉千代田区二番町5-25

左：CSR・CSV 推進室 シニアオフィサー
加納 澄子 氏

中：取締役 常務執行役員
荒金 薫 氏

右：千代田区長
石川 雅己



省エネ



▲多様な自然とふれあえる空間は利用者からも好評

「食と緑の空中庭園」を開放

四季を感じる「睡蓮の庭」や全長165mの壁面緑化「グリーンウォール」など、多様な自然と触れ合うことが出来る緑化空間になっている。この緑地・水場は、昆虫や鳥たちの移動に必要な休息場となっていて、年間約20トンのCO₂の削減に寄与しており、安らぎと憩いを与える緑化空間として、公益財団法人都市緑化機構の「都市のオアシス」認定を取得した。

環境教育



▲持続可能な社会の実現に向けての研修も実施

環境eラーニング

全社員を対象にPC上で、環境eラーニングを実施して、そごう・西武が取組んでいる環境・社会貢献活動およびその意味についての教育を実施。

環境・社会貢献委員会事務局研修

各店舗に環境・社会貢献委員会を設置、年間環境活動計画や活動進捗に関わる研修を実施。

施設管理業務従事者への専門教育

省エネ等に重要な役割を果たす施設管理業務従事者への専門教育を実施。

地域貢献



▲お仕事体験では、開店時にお客さまをお出迎え

「ECOフェア」の開催

地域行政機関やNPO、周辺の大学、商業施設などと連携した環境イベントを開催し、ゴミの分別等の身近な問題をゲーム形式など、こどもも参加しやすい形で啓蒙している。

店内エコツアーの開催

各店舗で店内エコツアーや館内探検会を開催。また、学生のインターンシップ研修として、普段見ることのできないデパートの裏側見学ツアー、百貨店業務を体験できるプログラムを実施している。

学生の感想

植樹・育樹、途上国支援、盲導犬育成支援の3つの活動を軸として、地域の役に立つことをそれぞれの店舗が自由に行っていると分かりました。だからこそ、色々な分野で活躍できることが強みであると感じました。

なかでも、私たちはShibuya Remake Bag Projectに興味を持ちました。このプロジェクトは、企業、学校、行政と連携して行っており、廃棄物を減らすだけでなく、地域活性化にも繋がっています。本来なら廃棄されるものを再利用しようと、渋谷店で働く方のアイデアによって実現されたことに驚きました。多くの人たちを巻き込んで環境配慮活動を行うそごう・西武は、次の年代へ豊かな今をつなぐことができる企業だと思いました。

大妻女子大学3年 榎山 雅由
細谷地 真生
松岡 百合奈

三菱地所株式会社

〈所在地〉千代田区大手町1-1-1



左：環境・CSR推進部
坂村 まどか 氏
中：環境・CSR推進部長
菊川 嘉彦 氏
右：千代田区長
石川 雅己



省エネ



▲三菱一号館美術館展示室

グリーン電力の使用

三菱一号館美術館および大手町パークビル新本社オフィスにおいて、使用する電力はすべてグリーン電力でまかなっている。



◀三菱地所本社内階段

環境教育



▲生きもの観察会「ホトリア広場を見に行こう」イベントの様子

環境月間の開催

グループ社員対象の生きもの観察会を、一般社団法人企業と生物多様性イニシアティブが主催する「JBIBいきものDays」として開催した。

当初30名程度の予定であったが、盛況で最終的には50名を超える参加者がNPO法人生態教育センターの自然観察員である2名の指導のもと、2班に分かれて観察会を行った。その結果17種類(植物を除く)の生きものがモニタリングされている。

地域貢献



▲新東京ビル屋上の養蜂巣箱

「丸の内ハニープロジェクト」の実施

新東京ビル屋上で、特定非営利活動法人銀座ミツバチプロジェクトの協力ののもと、養蜂を開始。近隣のテナント・見学希望者・グループ社員が週に一度早朝に集合し、蜂の習性などを学びながらハチミツを収穫。丸の内ハニーとして製品化した。

この取り組みを通じて、都市の植物の受粉や環境意識の高まりが促進され、8月には夏休みに入った子どもたちの体験の場ともなった。

学生の感想

丸の内エリアの三菱地所グループ社員やパートナー社員などが共通のバッジをつけ、クリーンアップ活動や道案内、写真撮影や、身体が不自由な方のバス乗車時のお手伝い等を3,300名という大人数で行っている「丸の内アンバサダー」に興味を持ちました。そのほか「丸の内ハニー」プロジェクトの実施をとおして街づくりに貢献しています。

社内で行う環境活動だけでなく、丸の内エリアという広範囲にわたって社員が一体となり様々な環境配慮行動を実施していました。このことは、持続可能な街づくりや、来街者へのおもてなしという点でも素晴らしいことだと思いました。

また、これらの活動は、地域の方々の環境問題に対する意識を変えることにつながっていることを知ることができ、胸がワクワクしました。

法政大学2年 落合 菜奈
武田 紗英



三幸株式会社

〈所在地〉神田駿河台3-3-4



左：業務推進部
兒玉 憲明 氏

中：代表取締役社長 執行役員
村上 賢昭 氏

右：千代田区長
石川 雅己

省エネ



▲大型ディスプレイで、電力状況をリアルタイム表示

BEMSによる電力監視

自社開発の「BEMS」により電力使用量の見える化を行い、社内の節電意識の向上を図り、電力削減につなげている。

夜間待機電力の削減

業務終了後、各自パソコン電源の個別スイッチ付コンセントを切るように義務付けている。ディスプレイOFF5分、スリープOFF10分を徹底。

空調機の更新と照明機器のLED化

本社自社ビルの全ての空調機の更新および照明機器のLED化を実現し、節電によるより多くのCO₂削減を目指している。

エコキャップ活動への参加

ペットボトルキャップを社内外から回収し、エコキャップ運動を推進している協会に寄与。

環境教育



▲座学でのエコチューニングの進め方の研修

エコチューニング研修

エコチューニング技術者育成のため、本社および首都圏の各支店、営業所の従業員に、エコチューニングの概論、進め方の研修を実施し資格取得支援を行っている。

5S活動の推進

9月と2月を5S月間とし、活動を推進。仕事におけるムリ、ムダ、ムラをなくすよう職場改善を行っている。

地域貢献



▲打ち水の様子

アルカリイオン電解水の生成

環境に配慮した洗浄水であるアルカリイオン電解水を自社で生成し、社内での利用促進だけでなく、普及活動も行っている。

地域清掃活動

月2回、事業所周辺の清掃活動を実施。継続して行っている。

打ち水

ISO推進室が中心となり、区内一斉打ち水を実施している。

学生の感想

業務の一環として、企業に対して、温室効果ガス排出削減に向けての施設の運用方法について提案するエコチューニング事業を展開しています。業務上、環境問題に対する社員の皆さんの意識が高いのは当然かもしれませんが、終業後のパソコンの電源オフや、空調の効率的な利用などの徹底ぶりには目を見張るものがありました。それらに社員全員で納得して取り組むために、現在使用しているエネルギーがいつでもディスプレイで確認できる「見える化」の実施や、上着を着れば空調利用を抑えられて光熱費や環境への負荷を抑えられることの説明を社員に行ったそうです。

環境に対する問題意識を高め、1つ1つの環境配慮行動をきちんと行うことで地球温暖化防止に貢献されている姿勢は素晴らしいと思いました。

法政大学2年 高橋 江里佳
3年 渡邊 理央

平成30年度 提出事業所

(敬称略、五十音順)

株式会社アイティ・イット	株式会社 GSIクレオス	トヨタホーム東京株式会社	フィリップ モリス ジャパン合同会社
株式会社あおぞら銀行	株式会社ジェイエイシーリクルートメント	ナガイレーベン株式会社	富国生命保険相互会社
アコム株式会社	JXTGエネルギー株式会社	長島・大野・常松法律事務所	富士興産株式会社
旭化成株式会社	JFE商事株式会社	株式会社ナカノフード建設	富士ソフト株式会社
旭化成ファーマ株式会社	JFEホールディングス株式会社	学校法人二松学舎	芙蓉総合リース株式会社
旭情報サービス株式会社	株式会社JPハイテック	株式会社ニチイ学館	古河電気工業株式会社
朝日生命保険相互会社	シティグループ証券株式会社	ニチレキ株式会社	ブルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社
アセットマネジメントOne株式会社	医療法人社団翔友会品川近視クリニック東京院	株式会社日建設計	株式会社文藝春秋
アデコ株式会社	ジブラルタ生命保険株式会社	日新火災海上保険株式会社	株式会社ベニンシュラ東京
アルピン株式会社	Shangri-La Hotels Japan株式会社	日新製鋼株式会社	学校法人法政大学
イオンリテール株式会社	首都高速道路株式会社	株式会社日清製粉グループ本社	株式会社ポストン・コンサルティング・グループ
出光興産株式会社	株式会社ジューピターテレコム	日鉄住金テックスエンジニアリング株式会社	株式会社毎日新聞社
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	株式会社小学館	日本紙通商株式会社	前田建設工業株式会社
株式会社イトーヨーカ堂	株式会社小学館集英社プロダクション	日本化薬株式会社	株式会社丸井
株式会社インターネットイニシアティブ	学校法人上智学院	日本ケミファ株式会社	株式会社ミクニ
株式会社インテージホールディングス	昭和産業株式会社	日本工営株式会社	株式会社みずほ銀行
株式会社インフォメーション・ディベロップメント	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	日本コンセプト株式会社	みずほ証券株式会社
ウエルシア薬局株式会社	信越化学工業株式会社	日本歯科大学附属病院	みずほ情報総研株式会社
AGC株式会社	新日鐵住金株式会社	株式会社日本政策金融公庫	社会福祉法人三井記念病院
株式会社エイチ・エル・シー	新日本有限責任監査法人	株式会社日本政策投資銀行	三井住友海上火災保険株式会社
株式会社エーピーシー商会	株式会社スタッフサービス	日本製紙株式会社	株式会社三井住友銀行
SAPジャパン株式会社	スバル興業株式会社	日本製粉株式会社	三井住友ファイナンス&リース株式会社
SMBC日興証券株式会社	住友林業株式会社	日本ゼオン株式会社	三井生命保険株式会社
NECプラットフォームズ株式会社	生化学工業株式会社	日本郵政株式会社	三井物産株式会社
株式会社NSD	石油資源開発株式会社	日本郵船株式会社	三井不動産ファシリティーズ株式会社
エヌエヌ生命保険株式会社	株式会社セブン・イレブン・ジャパン	日本郵便株式会社	三井不動産リアルティ株式会社
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社	全国農業協同組合連合会	株式会社日本教育クリエイト	三菱瓦斯化学株式会社
株式会社NTTドコモ	双日株式会社	株式会社日本経済広告社	三菱地所株式会社
エヌ・ティ・ティ・ビジネスアソシエ株式会社	株式会社そごう・西武	株式会社日本経済新聞社	三菱地所プロパティマネジメント株式会社
MS&ADスタッフサービス株式会社	ソニー銀行株式会社	日本原子力発電株式会社	三菱地所リアルエステートサービス株式会社
応用地質株式会社	第一生命保険株式会社	日本生命保険相互会社	三菱地所レジデンス株式会社
株式会社大塚商会	大王製紙株式会社	日本曹達株式会社	三菱商事株式会社
学校法人大妻学院	ダイダン株式会社	学校法人日本大学	株式会社三菱総合研究所
株式会社オリエントコーポレーション	大鵬薬品工業株式会社	日本大学病院	三菱電機株式会社
国立研究開発法人科学技術振興機構	株式会社大丸松坂屋百貨店	株式会社日本テレビワーク24	株式会社三菱UFJ銀行
加賀電子株式会社	大和住銀投信投資顧問株式会社	日本電信電話株式会社	三菱UFJ国際投信株式会社
株式会社KADOKAWA	株式会社タカラレーベン	日本土地建物株式会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
カルビー株式会社	TAC株式会社	一般財団法人日本品質保証機構	三菱UFJニコス株式会社
川口化学工業株式会社	中央労働金庫	日本ホテル株式会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
川崎汽船株式会社	株式会社中日新聞社	日本ユピカ株式会社	三菱UFJリース株式会社
公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院	株式会社帝国ホテル	株式会社ニュー・オータニ	向井建設株式会社
株式会社共立メンテナンス	鉄建建設株式会社	株式会社ネットワーク	学校法人明治大学
杏林製薬株式会社	デュポン株式会社	ネットワークシステムズ株式会社	明治安田生命保険相互会社
協和警備保障株式会社	デロイトトーマツコンサルティング合同会社	能美防災株式会社	メタウォーター株式会社
協和発酵キリン株式会社	ドイツ証券株式会社	農林中央金庫	ヤフー株式会社
株式会社きんでん	東海旅客鉄道株式会社	ノボ ノルディスク ファーマ株式会社	株式会社読売情報開発
株式会社クラレ	東京海上日動火災保険株式会社	野村證券株式会社	楽天損害保険株式会社
株式会社クリーク・アンド・リバー社	学校法人東京家政学院	野村信託銀行株式会社	株式会社ラック
株式会社ぐるなび	東京産業株式会社	株式会社野村総合研究所	株式会社LIXIL
KNT-CTホールディングス株式会社	株式会社東京商工リサーチ	パーソルキャリア株式会社	株式会社リクルートホールディングス
KDDI株式会社	東京センチュリー株式会社	ハウス食品グループ本社株式会社	理研ビタミン株式会社
興研株式会社	東京通信病院	株式会社ハブ	株式会社リョーサン
興産信用金庫	東京電力パワーグリッド株式会社	株式会社 パレスホテル	株式会社ルネサスイーストン
独立行政法人国際協力機構	東京電力フュエル&パワー株式会社	株式会社阪急阪神百貨店	株式会社ワコール
株式会社国際協力銀行	東京電力ホールディングス株式会社	PwC税理士法人	
国家公務員共済組合連合会	株式会社東京堂	東日本高速道路株式会社	
コニカミノルタ株式会社	東京都国民健康保険団体連合会	東日本旅客鉄道株式会社	
サイバネットシステム株式会社	東京ビル整美株式会社	日立オートモティブシステムズ株式会社	
酒井国際管理株式会社	東邦亜鉛株式会社	株式会社日立産機システム	
株式会社栄電子	有限責任監査法人トーマツ	株式会社日立製作所	
佐藤商事株式会社	東陽監査法人	株式会社日立ビルシステム	
産業経済新聞社	東洋ビジネスエンジニアリング株式会社	BNPパリバ証券株式会社	
三幸株式会社	株式会社ドコモCS	株式会社ビックカメラ	
株式会社三省堂書店	凸版印刷株式会社	株式会社ビデオリサーチ	

※千代田区温暖化配慮行動計画書制度
要綱第6条第1号、並びに第7条第
3号に基づき公表しています。
※平成30年12月末日現在における提
出事業所です。

応募企業37社の わが社の ECO自慢

※272事業所中、「わが社のECO自慢」に掲載を希望した事業所

理研ビタミン株式会社

【エコ表彰制度】

理研ビタミングループは、「社会に対し、食を通じて健康と豊かな食生活を提供」を経営理念として、地球環境を大切に、社会や自然との調和をはかりながら、事業活動を行っています。

オフィス部門では、環境負荷低減活動のモチベーションを高め、コスト削減や様々な取り組みの水平展開を推進するため、2016年から「エコ表彰」を行い、優れた取り組みや事業所を表彰しています。

メタウォーター株式会社

オフィスや国内建設工事現場において、リサイクルの促進、エコ商品への切換などに取り組んでいます。

- ・事務用品については、グリーン購入を推奨。
- ・オフィス照明については、LED化による省エネルギー活動を推進。
- ・業務用車両については、エコカーへの切換を促進することにより、環境負荷を軽減。
- ・建設現場においては、表示看板などの現場にて使用される備品のリユース活動を展開。
- ・役員会議における会議資料の紙配布を廃止し、タブレットで資料データを閲覧する形式に移行。全社的なペーパーレス化を推進。
- ・社内で使用する紙はすべて100%森林認証紙に変更。



三菱UFJニコス株式会社

クレジットカードの入会から発券、ご利用明細書、ポイントの還元まで、一貫して環境に配慮した「MUFJカード」を発行しています。カードの素材には、焼却時に塩素ガスを出さないPET-Gを、入会申込書には、FSC認証紙を使用。カード利用後に送付するご利用明細書のWEB明細切替推進を図るとともに、ポイント交換商品に、国内の森林・植林事業を行う環境保全団体への寄付プログラムを用意しています。

三菱UFJ信託銀行株式会社

「ピーターラビット™未来へつなぐ森」

三菱UFJ信託銀行は、平成21年5月、埼玉県と長瀬町と「埼玉県森林づくり協定」を締結し、長瀬町宝登山(ほどさん)地内にある共有林(約1ha)で森林保全活動を開始、「ピーターラビット未来へつなぐ森」と名づけたこの森で、従業員とその家族が植樹や下草刈りといった活動に参加しています。



三菱商事株式会社本店 (三菱商事ビルディング)

省エネルギーの取り組みとして、周囲照度を450ルクスにして卓上LEDタスクライトを設置している他、天井照明(蛍光灯)のLED化を一部実施。

従業員に対する環境教育として、社員向けに電子版環境ハンドブックの配布、内部環境監査、外部機関による定期維持審査時に環境意識向上のための社員インタビューを年1回実施。

また、環境CSR活動として、森林保全・サンゴ礁保全プロジェクト等の生物多様性の保全活動を実施。



三菱商事株式会社本店 (丸の内パークビルディング)

省エネルギーの取り組みとして、周囲照度を450ルクスにして、卓上LEDタスクライトを設置している。

従業員に対する環境教育として、社員向けに電子版環境ハンドブックの配布、内部環境監査、外部機関による定期維持審査時に環境意識向上のための社員インタビューを年1回実施。

また、環境CSR活動として、森林保全・サンゴ礁保全プロジェクト等の生物多様性の保全活動を実施。



三菱地所プロパティマネジメント株式会社

当社では、丸の内の街に関わる人たちが、街を訪れるお客様をおもてなしする「丸の内アンバサダー」活動を推進しています。日頃から行う清掃活動や、街ゆくお客様へのご案内などに加え、夏場には打ち水を実施。道行く人たちに涼感をお届けすることができました。

丸の内「丸の内アンバサダー」の赤いバッジを見かけたら、是非、お気軽にお声かけください！



三菱地所株式会社

「凜(ほり)プロジェクト」

2017年11月、当社は、民間事業者で初めて、環境省から皇居のお濠由来の希少な水草の提供をうけ、(公財)日本自然保護協会の協力のもと、当社施設での系統保全の取組を開始。3×3ラボfutureに設置している水槽に「水がきれいになったお濠」を再現した。



三井物産株式会社 (日本生命丸の内ガーデンタワー・JAビル)

当社と三井不動産が大手町一丁目推進中の「(仮称)OH-1計画」(2020年2月建物竣工予定)では、大手町地区の業務継続機能を支える地域冷暖房供給施設のメインプラントを機能維持しながら移設、浸水防止・耐震性能の強化を図るとともに、設備の効率化により年間約1,000tのCO₂排出量削減を目指します。

また、約4,500立米の蓄熱槽利用により電力が逼迫するピーク時間帯の電力負荷の抑制に貢献します。



富士ソフト株式会社

◆社内のecoオフィスサイトに「FSI ecoガイドライン」27項目を掲載。ビル毎の電力使用量をグラフ化し、年間の使用状況を見える化することで、環境に対する社員の意識やモチベーションの向上を図っています。

◆自社開発のペーパーレスシステム「moreNOTE」を利用し、タブレットやスマートフォンに会議資料を表示することで、会議や打ち合わせのペーパーレス化を実現しています。また、資料の差替えを瞬時に実行し作業効率向上により、CO₂削減に貢献しています。

◆CSR活動の一環としてNPO法人を立ち上げ、過疎化が進む地域において、動植物の生態維持や社員の環境意識啓発などを目的とした里山保全活動として、草刈りなどのボランティア活動を行っています。

<CSR活動:><https://www.fsi.co.jp/csr/>



里山保全の草刈りの様子

株式会社みずほ銀行 (内幸町本部・大手町本部)

〈みずほ〉では、CO₂排出量削減目標を設定し、省資源・省エネルギー対策を設備・運用の両面から実施するとともに、本業において、再生可能エネルギー普及をはじめ環境関連ファイナンスを幅広く提供しています。

また、各役職員の主体的な環境配慮行動の促進を目指し、気候変動をはじめとする環境の課題に対し、実践する行動を社員が宣言し、その数に応じた苗木を寄付する環境啓発を推進。2008年から2017年まで、延べ36万人超のグループ社員が宣言に参加し、合計18,000千本超の苗木を地域に寄付しました。

株式会社日立製作所 (日本生命丸の内ビル、丸の内センタービル、秋葉原ダイビル)

当社が千代田区内に設置する事業所(本社機能)は、テナントビルであることから独自での設備更新などの省エネルギー対策は実施していません。しかし、ビルオーナーと協働して、照明灯数削減、照度補正值の設定、照明の一時自動消灯、空調設備の運転時間の短縮化など、着実な対策を実施しています。また、ライトダウンキャンペーン活動等への参画、クールビズ、ウォームビズの実施、在宅勤務の推進、残業時間の短縮等を実施しています。

学校法人法政大学



環境センターは、エレベーター利用の常態化という行動パターンから環境配慮、健康増進型への行動変容を目指してパイロット的に「階段利用キャンペーン」を実施しました。キャンペーンは、環境保全活動の活性化を目指して「ナッジ」を活用し、グリーン・キャンパス創造計画書の目標に加えて、より難易度の高い目標も併せて設定しました。参加者からは、省エネ及びライフスタイルに関する意識啓発、労働生産性の改善、ダイエットによる健康増進等の効果について報告が挙げられました。

日本郵船株式会社

18年3月に新中期経営計画「Staying Ahead 2022 with Digitalization & Green」を策定し、環境をキーワードに設定しました。またSBT認定も受けた新しいGHG削減目標を掲げ、その達成に向け、最新の省エネ技術を搭載した船舶の竣工や環境関連の技術開発、及びIoT技術を駆使した最適運航実施による燃費活動の深度化を図っています。

ブルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社

当社では、研修センターで壁面緑化を実施し、植物の力を取り入れています。植物には空気清浄(CO₂削減)、湿度調整(省エネ)等、さまざまな効果、効能があります。また日常でも、ペーパーレスの推進、業務で使用した上質紙のリサイクル、窓への遮熱フィルム貼付、電源OFFの徹底、蛍光灯の引き換え等を実施し、日々環境問題に取り組んでおります。

日本郵政株式会社

・日本郵政グループは、NPOと連携の下、全国の保育園・幼稚園等の子ども達を対象に、幼少期から植物や森林と触れ合うことで健全な環境意識を育む環境プログラム「JP子どもの森づくり運動」を展開しています。

・ゆうちょ銀行では、社会全体で環境問題に対する取組を促進するために、子どもから大人まで幅広い年代の方を対象とした、環境情報誌「未来の地球を守るエコ貯金やってみよう!」を作成し、Web掲載しています。



芙蓉総合リース株式会社

芙蓉リースは、2012年に子会社を通じて太陽光発電事業に進出。現在、全国29カ所に大規模太陽光発電所(メガソーラー※1)を開発し、一般家庭の年間消費電力量に換算して約23,000世帯分の電力を供給しています。※2

さらに、2018年の稼働開始に向けて、福島県の富岡町と楢葉町、宮城県の七ヶ宿町の3カ所でメガソーラーの建設を進めています。新たなメガソーラーは従来の10倍近い規模となる大型の発電所で、3カ所を合わせた電力供給量は約17,000世帯分となる見込みです。※2

東日本大震災と原子力発電所の事故で大きな被害を受けた福島県は、「再生可能エネルギー先駆けの地」をめざし、2040年頃を目途に福島県内の1次エネルギー需要量の100%以上を再生可能エネルギーから生み出すというビジョンを掲げています。

福島県内では、すでに3カ所で当社のメガソーラーが稼働中ですが、今後も当社の太陽光発電事業がこのビジョン達成の一助となるよう、同県におけるメガソーラーの開発を進めていく方針です。

※1 出力が1MW(メガワット=1000kW)以上の大規模な太陽光発電所
※2 一セ帯当たり3,600kWhで算出



日本紙通商株式会社

当社は、生物多様性に配慮した企業活動を基本とし、長期的視野に立って地球規模での循環型社会の形成に貢献してきました。又、紙・パルプ産業に関連する専門商社として、その企業活動の中で地球に与える影響を的確に把握し、持続的な社会の形成に寄与するために行動指針を定め活動しております。ISO14001:2015年版に基づいた「本来業務との統合」に重点を置き、環境目標に多くの本来業務を取り上げ取り組んでいます。

東京海上日動火災保険株式会社 (東京海上日動ビルディング本館・新館・ラメール三番町)

弊社は、1999年からマングローブ植林事業を行っており、2018年3月末までの植林面積は9カ国で10,550haとなっています。マングローブの森には、地球温暖化防止、生物多様性の保全、「みどりの防波堤」となり津波高潮被害の軽減など、さまざまな効果があります。また、弊社の植林効果を第三者に委託して調査したところ、開始から15年間で約350億円の経済価値と約125万人に影響を与えたとの試算結果を得ました。



株式会社日清製粉グループ本社

日清製粉グループは、環境に関する中期目標を策定しました。地球温暖化防止のため、2030年度までに2013年度比で、国内ではCO₂総排出量を26%削減し、海外では原単位を7.8%削減する目標を策定しました。また、循環型社会形成のための資源の有効利用では、グループ全体(国内)でゼロエミッションを維持、2020年度までに事業場単位(国内)でもゼロエミッションの達成を目指します。

株式会社帝国ホテル

社長を委員長とする環境委員会のもと、省エネ・ごみ削減・グリーン購入等のテーマ別にチームを設け、部門横断的なメンバー構成で環境活動を行っています。その他、年間約120名の若手従業員が参加する環境セミナーや年間約200名の従業員によるアルミ缶の分別・圧縮作業を行うなど、全社的に活動に取り組んでいます。尚、アルミ缶を資源化して得た資金で日比谷公園の花壇の一部を管理し、緑ある街づくりにも貢献しています。



株式会社ナカノフドー建設

①施工段階におけるCO₂の排出抑制 ②工業化、省力化の積極的推進及び工期短縮等へ活用 ③有害化学物質の管理の徹底 ④廃棄物の発生抑制 ⑤環境配慮設計の促進 ⑥環境配慮提案件数の向上 ⑦太陽光発電の実施 ⑧オフィスにおける環境社会貢献活動の推進と企業価値の向上 ⑨地域清掃活動の実施 ⑩インターンシップや会社説明会で環境教育を実施 ⑪地域環境活動への参加 ⑫作業所における環境社会貢献活動の推進



中央労働金庫 (本店ビル、会館ビル、昇龍堂ビル)

当金庫では、使用する全てのコピー用紙をグリーン購入法適合のリサイクルペーパー(古紙パルプ配合率100%、グリーン購入法総合評価値92)に切り替えるなど、環境配慮の取り組みを実践しています。また、職員のワークライフバランスとCO₂削減を通じたCSR活動の意識醸成を図る観点から、全職場一斉に定時退勤する「R-DAY」(アールデー)を毎週設定し、管理職を含めた定時退勤および執務室の消灯を励行しています。

東京電力ホールディングス株式会社

東京電力グループは、福島復興への責任を全うしつつ、持続可能な社会づくりに貢献するため、環境に配慮した事業運営を行っています。具体的には、再生可能エネルギーの導入など電源の低炭素化と共に電化を推進し、お客さまの省エネ支援等のソリューション提供を通じて、低炭素社会の実現に貢献します。また、本社本館で照明のLED化、蓄熱式空調システムやヒートポンプ給湯器の導入等、省エネを推進しております。



東京電力グループでは本館の整備など長年尾瀬をまもる取り組みを行っています
詳しくはWEBへ **TEPCO 環境**

第一生命保険株式会社 (日比谷本社)

当社は地球温暖化の防止に寄与するため、下記の取組みを実施しています。
 ・ビル・地域特性に応じ、冷やし過ぎない(暖めすぎない)室温設定
 ・LEDタスクライトの導入
 ・事務室・会議室・トイレなどの不使用時の消灯
 ・エレベーター2UP、3DOWN(プラス2階、マイナス3階の移動は階段利用を徹底)
 ・自動販売機照明の消灯
 ・プリンター、コピー機の業務終了時電源OFF、シュレッダー・スキャナーの使用時以外電源OFF
 ・2時間以上の離席時電源OFF

東京センチュリー株式会社

当社は、「事業の成長に挑戦するお客さまとともに、環境に配慮した循環型経済社会の実現に貢献」することを目指しています。「二国間クレジット制度設備補助事業」に積極的に取り組み、お客さまの海外工場への太陽光発電システムの導入を進めました。金融・サービス企業初の代表事業者として、環境省主催のセミナーで講演も行いました。当社のグローバルネットワークを活用し、今後も地球温暖化防止に貢献して参ります。



株式会社そごう・西武 (本部)

①西武池袋本店屋上「食と緑の空中庭園」では、シンボルである「睡蓮の庭」をはじめ、四季折々に庭園を彩る草花、壁面緑化など、多様な自然とのふれあいをお客さまにご提供しています。
 ②「地球環境を考える」というメッセージをギフトに添えて贈る「グリーンラッピング」、不要になったこども靴をお預かりしてアフリカのザンビアへ贈る「こども靴下取りサービス」など、お客さまとともに「地球にやさしい環境活動」を推進しています。



双日株式会社

当社は、エネルギー使用削減や低炭素および脱炭素社会の実現に資する事業を拡大することを長期ビジョン「サステナビリティ チャレンジ」として掲げ、環境に配慮した経営を推進しています。

また、保護価値の高い森林や違法伐採された木材の取扱いは行わない方針と具体的な目標を掲げ、毎年サプライヤーへの調査を実施し、結果をウェブサイトに掲載するなど、生物多様性の取り組みの強化に繋がっています。

株式会社オリエントコーポレーション

平成26年度から開始した、本社ビル内の部署間で余剰となったクリップやファイルといった事務用品を譲り合う制度「オリコエコ倶楽部」。4年間でのリユース利用はすでに1200件を超え、資源の有効利用と社員のエコ意識向上に役立っています。

また、年に2回実施される「千代田区一斉清掃の日」には毎回社員が参加し、本社ビル周辺の歩道や公園などの清掃を実施し、地域の美化に協力しています。

スバル興業株式会社

安全運転による事故防止およびエコドライブの推奨のため全車両にドライブレコーダーを設置し、安全でエコな運転を心がけています。首都高速道路を例にすると、事故が1件減ると、2キロの事故渋滞と3トンのCO₂排出が軽減できるとの事です。当社は「TOKYO SMART DRIVER」(NPO法人日本スマートドライバー)のサポート企業として、自動車の事故防止およびエコドライブの推進をしています。

<http://www.smartdriver.jp/partners>



応用地質株式会社

当社は、地盤防災、インフラ、地震防災、地球環境、エネルギーなど、人と地球に関わるコンサルティングサービスを行う企業です。地球環境分野では生物多様性対応、自然環境の保全・再生、廃棄物の浄化・再利用などに取組んでいます。

各地で総合学習やイベントの講師を行っており、生物学・林学・農学・廃棄物工学・土壌学・地質学など様々な分野の専門家が対応します。魚や虫たちに触れると、子どもも大人も目が輝きます。



首都高速道路株式会社

地球温暖化防止を目的に環境省主催で行われた「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン2017」(2017年6月21日(夏至)、7月7日(クール・アース・デー)の2日間開催)に参加しました。ライトアップ施設や家庭消灯など、環境に配慮した生活を考えるきっかけになるよう、首都高の5つの橋(レインボーブリッジ、横浜ベイブリッジ、鶴見つばさ橋、かつしかハーブ橋及び五色桜大橋)でライトダウンを実施しました。ライトダウンにより、2日間で約2,000kWh電力削減されています。



株式会社NTTドコモ(山王パークタワー)

2018年5月、神奈川県の山王パークタワー内の余剰敷地に太陽光発電システムを構築し、400枚の太陽光パネルを敷設しました。想定している発電量、年間約100MWh(発電出力49.5kW)の一部は、隣接する基地局に供給し、残りの電力は、再生可能エネルギーの固定価格買取制度を利用し、電力会社へ売電しています。

また、千葉県銚子市および群馬県桐生市においても同様の計画を進めており、2020年までに総発電量を2,000kWにすることを目標に、環境に優しく安全な再生可能エネルギーの普及・拡大を促進し、環境負荷低減に貢献していきます。



佐藤商事株式会社

- ・会議等においてタブレット端末を活用し、会議資料の紙削減
- ・営業車にテレマティクスシステムを搭載し、急加減速、最高速の監視、燃費の見える化により安全・省エネ運転を推進
- ・国内全事業所のLED照明化(今年度完了予定)
- ・太陽光発電の利用(長野支店、名古屋鋼材センター、関西鋼材センター)
- ・エコキャップ活動

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(略称:CTC)

当社は、東日本大震災で被災した宮城県岩沼市にある「千年希望の丘」サポーター制度に東京の企業として初めて登録し、グループ社員およびその家族が現地に赴き継続的に植樹・補植活動などを行っています。

また、全ての組織が省エネ活動はもちろん本業を通じた環境目標を設定し、グループ全体で環境改善活動に取り組んでいます。



川崎汽船株式会社

【社有地での里山保全活動】

千葉県成田国際空港隣接の社有地において、特定非営利活動法人千葉大学環境ISO学生委員会との協働による、里山保全ボランティア活動を実施しています。

【ランチタイム・ボランティア】

本社近隣地域において飯野ビルディングに入居する他社との合同で、昼休み時間帯を利用し、歩道での清掃ボランティア活動を定期的に行っています。



アルピン株式会社

弊社はパンフレットやポスター、WebなどのPRIに関する企画・デザインから、機関誌等の編集制作、イベント関連業務など多岐に渡って行っている会社です。ISO14001取得企業として、グリーン購入や紙の再利用はもちろん、環境に負荷のかからない企画の提案を行なっています。区の清掃活動のみならず、多摩川クリーンキャンペーン(清掃活動)への参加や環境省のライトダウンキャンペーン等、区外の環境活動にも積極的に参加しています。



この取組みがすごい!

よりすぐりの5事業所をご紹介します

この冊子は、区内の大学に在籍している大学生と協働で作成しています。ここからは、編集に協力している大学生たちが、実際に足を運んで取材し、学生なりの視点で「すごい!」と感心した取組みをご紹介します。



プラスアルファの環境配慮行動

首都高速道路株式会社

はじめは公害対策としての騒音・大気・振動対策でした。加えて、渋滞の解消や首都高5大橋（レインボブリッジ、横浜ベイブリッジ、鶴見つばさ橋、かつしかハープ橋、五色桜大橋）のライトダウンキャンペーン、環境フェアの実施やオリジナル商品の制作など様々な環境配慮行動を実施しています。オリジナル商品の制作では、安全対策や工事のお知らせなどのために高速道路に掲げられている横断幕を再利用して、本来は捨てられていた廃材からトートバックなどを作っているそうです。

特に力を入れていると思ったのが「見沼たんぼ首都高ビオトープ」や自然再生緑地「おおはし里の杜」の整備など、生物多様性の保全活動です。見沼たんぼ首都高ビオトープは、貴重な生物が多く生息する首都高埼玉新都心線沿線地域において、生きものが暮らす場所であるビオトープを作る活動で、地域の人の協力を得て実施しています。おおはし里の杜では、地元の小学生が稲作体験をしています。自然と楽しくふれあう機会を提供することで、自然について考えるきっかけ作りをされているそうです。また、年に2~3回、一般の方向けの開放日があり見学もできるそうです。これを聞いて、開放日に行ってみたいと思いました。

本業である高速道路の維持・管理の一環として環境配慮行動を行うだけでなく、プラスアルファの環境配慮行動を実施し、拡大しようとする姿勢が素晴らしいと感じました。



◀首都高の環境への取組みを熱心に聞き取り



▶断幕バッグと、高速看板ベンチで記念撮影



こんな会社です

首都高速道路公団に代わる新しい組織として、2005年10月1日に設立。首都圏の大動脈である首都高速道路の建設、維持、管理に日夜携わっています。お客様の安全・安心を守るとともに、お客様視点に立ち質の高いサービスを心がけています。これからも、首都圏のひと・まち・くらしを結び、豊かで快適な社会の創造に貢献すべく走り続けていきます。



執筆者：大妻女子大学3年 鈴木 咲也香
法政大学 3年 渡邊 理央

持続可能な社会の実現に向けての努力

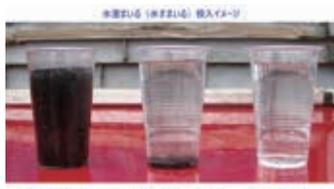
スバル興業株式会社

主力事業である総合的な道路メンテナンスでは、日本を代表する首都高速や東名高速など、青森県から兵庫県まで業務エリアを広げ多くの仕事に取り組んでいます。また、全国に多くの車両を保有しており、安全運転による事故防止やエコドライブ推奨のため、1つの事故が減ると約2キロの渋滞と約3トンのCO₂排出軽減が可能とのことで、全車両にドライブレコーダーを設置し、安心安全を心がけています。

温暖化対策事業としては、兵庫県の3か所にもともと塩田であった土地を利用して、太陽光発電所を設置しています。発電した電力は、約千世帯分を賄っているとのこと。ほかにも、水を綺麗にする事業として河川や農業用ため池等の汚濁水を汚泥と水に分離させる”水澄まいる”という製品の研究・開発で汚濁水の浄化を試みるなど、持続可能な社会の実現に向けて貢献している注目の会社です。



◀兵庫県姫路市
大塩第一太陽
光発電所



▲「水澄まいる」濁水処理イメージ



こんな会社です

まもなく75周年を迎えるスバル興業株式会社。創業以来“社会に奉仕すること”を理念として、有楽町スバル座をはじめとしたレジャー事業、道路関連事業、不動産事業を行っています。道路の維持管理を通して生活環境整備事業の推進を図るとともに、映画興行と飲食店経営を通して豊かな生活を提供し、社会の発展に一層貢献することを基本的な考え方として事業活動を進めています。



執筆者：法政大学2年 高橋 江里佳
2年 武田 紗英

社員全員で取り組む環境対策

東京電力ホールディングス株式会社

東京電力グループでは、再生可能エネルギーの主力電源化や火力発電の高効率化に力を入れており、その販売電力量実績は全国1位でありながら、事業活動をとおしてCO₂削減に取り組んでいました。

社員の方が、オフィスで消費されるエネルギーを削減するためにやっている取組みは、昼休憩時の消灯をはじめ、全社ノー残業やクールビズ・ウォームビズの実施、空調の調節などです。その結果、オフィス内で1%程度のエネルギーを削減することができました。引き続き、年平均削減率1%程度(2016~2020年度)削減することを目標にしているそうです。

オフィスにおける様々な取組みがある中で特に印象的だったのが、ゴミの分別です。リサイクルしやすいようにゴミを17種類に分け、徹底的に分別していました。社員の方一人ひとりが、常に環境対策を意識して取り組まれていることにとても感心しました。

その他にも、不要となったファイルや文房具などの事務用品はそのまま捨てるのではなく、社内に設置されているリユースコーナーに保管され、使いたい人が自由に使える仕組みになっていたことも、素晴らしい取組みであると思いました。

事業活動の一環としてCO₂の削減を目指すだけでなく、オフィスにおいても社員全員が多くの地道な取組みをしていることがとても印象に残りました。



◀ウインドファーム
「東伊豆風力発電所」



▶オフィスゴミの
17分別回収の様子



こんな会社です

2016年4月東京電力は福島第一原子力発電所事故の責任を果たし、エネルギー産業の新しい競争の時代を勝ち抜くため、「燃料・火力発電」「一般送配電」「小売」部門を分社化し、ホールディングカンパニー制に移行しました。電力販売のみならず電力を活用した快適な生活を送るためのサービス提供を通じて、社会的な課題解決に貢献し、新たな価値創造や持続可能な社会の実現に挑戦しています。



執筆者：大妻女子大学3年 井口 さやか
3年 細谷地 真生

環境配慮に関する、社員への徹底した意識付け

株式会社日清製粉グループ本社

日清製粉グループでは、多様な分野での事業が進むなか、環境活動に関しては全社で足並みをそろえて共通の認識を持ち、地道な努力によって2008年にISO14001の一括認証を取得しました。環境活動は幅広く、社内全体で行うことや継続が難しいとされていますが、工場や海外拠点で勉強会等を実施し、効果が表れているか評価し記録をつけることで、更なる活動へ発展させています。

また、環境配慮行動として会社でイベントや対策を行うだけでなく、社員一人一人に環境配慮への意識付けも行っていました。環境を改善するためには、やはり一人一人の小さな積み重ねが大切なので素晴らしいと感じました。例えば、環境についてのDVDの貸出しや、勉強会を開催して参加者にアウトプットをさせるなどがあります。

特に印象に残っていることは、日本国内だけでなく海外の工場へ出向いた時にも、環境教育を行っているということです。意識付けを徹底していると感じました。



◀勉強会の様子



◀本社外観



こんな会社です

小麦粉の製造及び販売を主な事業とし、加工食品、中食・惣菜、酵母・パイオ、ペットフード、健康食品、エンジニアリング、メッシュクロスなどの事業を加えた企業グループ。『信を万事の本と為す』と『時代への適合』を社是とし、『健康で豊かな生活づくりに貢献する』ことを企業理念として、生活産業をグローバルに展開しています。



執筆者：法政大学 2年 落合 菜奈
大妻女子大学3年 檜山 雅由

全国に広がるネットワークを活かした活動

日本郵政株式会社

日本郵政グループは、今年で11年目となる「JP子どもの森づくり運動」に賛同しています。これは、全国の保育園・幼稚園・こども園の園児たちを対象とした森づくり体験プログラムで、「どんぐり等を拾う」「苗木に育てる」「苗木を森に植える」といった一貫した取り組みを行うことで子どもの環境意識や生きる力を育むことを目指しています。2012年からは、東日本大震災で被災した東北の緑の復興への願いを込め、東北の園児が拾ったどんぐりの種を、全国の園児が育て、3年目に大きくなった苗木を郵便局のネットワークを利用して被災地に送る「東北復興グリーンウェイブ」も実施しています。日本郵政グループの全国規模のネットワークを、子どもの森づくり体験プログラムに活用していることが面白いと思いました。

そのほかにも、地域の方々との繋がりを大切にするために、高齢者向けに「郵便局のみまもりサービス」を全国展開しています。

この取り組みは、全国にネットワークを持つだけでなく、地域との繋がりも重視する日本郵政グループだからこそできることだと思いました。加えて、お客様や地域社会に寄り添い、その生活をサポートしながらCSR活動に積極的に取り組んでいるところも素晴らしいと感じました。



◀「東北復興グリーンウェイブ」の植樹会の様子(岩手県山田町)

▶「東北復興グリーンウェイブ」の植樹会の様子(岩手県宮古市)



こんな会社です

日本郵政グループの持株会社。子会社として日本郵便株式会社、株式会社ゆうちょ銀行、株式会社かんぽ生命保険などがあります。お客さまや地域社会の役に立てる「トータル生活サポート企業グループ」を目指し、持続可能な社会・未来の創造に貢献しています。



執筆者：大妻女子大学3年 中田 麻衣子
3年 松岡 百合奈

編集後記



大妻女子大学3年 井口 さやか

環境問題が深刻化する中、企業ではどのような取り組みが行われているのか興味があり参加しました。実際に企業では、想像を超える様々な環境配慮行動が行われており、驚きと新たな発見が多くありました。また、自分の生活を見直すきっかけにもなり、改めてエコの重要性を実感しました。直接訪問をして取材をするという大変貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。



大妻女子大学3年 中田 麻衣子

私は、この活動をゼミナールの先生の紹介で知り、企業の環境に対する取り組みを知る良い機会だと思ったので、参加させて頂きました。取材をすると、企業は環境問題の対策に力を入れており、環境に配慮した取り組みを行うことは、もはや当たり前であるとわかりました。実際に企業を訪問し、お話を聞くということは、私にとって貴重な経験となりました。参加してよかったです。



法政大学2年 落合 菜奈

大学の授業で学んでいることを、実際に現場に出て様々な環境対策を行っている企業の方々のお話を伺うことが出来てとても貴重な経験になりました。これも環境を守っていくことへ繋がっているのかと思うような細かい対策や、グループ会社全体で足並みをそろえて一体となった大きな対策などがあることを知ることが出来て良かったです。



大妻女子大学3年 檜山 雅由

就職活動を控え、何をしたら良いのだろう...と感じていた時、この活動を知りました。企業の行っているCSR活動を取材に伺うという形で知っていくことで、多くの新しい発見があり、私自身視野が広がったように思います。また、企業の行う活動は難しそうと感じていたのですが、中には自分にも協力できる活動があることを知り、これからの生活に今回の経験を生かすことができたらと思います。



大妻女子大学3年 鈴木 咲也香

今回、企業がどんなCSR活動や環境教育活動を行っているのか興味を持ち参加させていただきました。直接企業に訪問して取材を行うということは学生の私にとってとても貴重な体験となりました。取材時はとても緊張しましたが取材したことで、今の日本の現状を知り、エコ活動の重要性を再認識することができました。この貴重な経験を就職活動など今後に活かしていきたいです。



大妻女子大学3年 細谷地 真生

今回、ゼミナールの先生の紹介でこの活動を知りました。企業ではどのような環境配慮行動や環境教育を行っているのかに興味があり、参加しました。訪問した企業では、さまざまな取り組みを行っている中で、その企業の特徴を生かした取り組みが行われていることがわかりました。直接企業に訪問し取材するという、普段の学生生活ではできないような貴重な体験をさせて頂き、嬉しく思います。ありがとうございました。



法政大学2年 高橋 江里佳

今回、ゼミの教授から「御仕事“恵呼化”見本帖」と呼ばれるエコに関するパンフレット作成の活動があると紹介を受けました。「御仕事“恵呼化”見本帖」を通じて千代田区について、大学周辺の社会環境、区役所の職員の方の仕事、企業が取り組んでいるエコなど多くの事を学べる機会として、1つの社会勉強になると思い、参加を決意しました。区役所の方を始め、企業の方々のおかげで、貴重で素晴らしい体験をさせていただきました。お世話になり、ありがとうございました。



大妻女子大学3年 松岡 百合奈

私の住んでいる千代田区には多くの企業があります。その中で私は、日本郵政株式会社と株式会社そごう・西武に話を聞きに行きました。普段からよく利用している企業が環境に対して様々な取り組みを行っていて、初めて知ることが多く、とても勉強になりました。事前に考えた質問に対して、企業の方々が真剣に、そして丁寧に答えてくださったことが何よりも嬉しく、取材をしていて楽しかったです。ありがとうございました。



法政大学2年 武田 紗英

今回初めて参加しましたが、普段だったらあまり見られない企業の環境配慮行動や、独自で行われている活動を間近で見ることができ、とても良い経験でした。多くの企業が環境CSRについて深く関心があることを知り、持続可能な循環型社会へ着々と近づいているのではないかと改めて実感しました。間近に控えるオリンピックとの関連性などにも注目していきたいです。とても楽しかったです。ありがとうございました。



法政大学3年 渡邊 理央

取材に伺って、会社と一人ひとりの社員の皆さんが環境に対する問題意識を共有し、意欲的に環境配慮行動に取り組んでいることを実感を持って知ることができました。それらの取り組みをお手本として、将来自分が働く時も積極的に環境のためにできることを探して、実践していきたいと思いました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

主な取り組み事例

【省エネルギー・省資源へ向けた取り組み】



(節電に関する取り組み)

- ・照度測定 (500Lx) による不要照明の灯数削減
- ・照度補正センサ導入による自動調光の導入 ・全照明の LED 化
- ・エコパトロールを実施し、未実施者にはイエローカードやレッドカードを発行



(ワークスタイルによる取り組み)

- ・サマータイムの導入 ・エコ年休取得の推奨 ・ノー残業デーの実施 ・ロー残業デーの実施



(社内外への情報提供)

- ・社内掲示板に CO₂CO₂(コツコツ) 運動の周知



(廃棄物・燃料等の削減)

- ・用紙、封筒、文具等の再利用 ・古本の回収、売却、寄付
- ・環境配慮契約法に基づく契約の推進 ・サイクルシェアの利用
- ・必要書類の電子化による資源削減 ・キャップ回収活動の促進



(イベントによる取り組み)

- ・環境川柳コンテストの開催 ・環境、燃節フォトコンテストの開催

【従業員に対する環境教育】



(研修会等での学習)

- ・全社従業員に対する環境 e ラーニングの実施
- ・新入社員へ向けた環境教育の実施
- ・環境関連施設見学会の実施による環境意識啓発
- ・「生物多様性」に特化した環境体験学習の導入
- ・社内 DB を使用した年一回定期的な環境確認テストの実施



(学習・活動支援)

- ・eco 検定の受験推奨として、合格者に受講料+奨励金を支給
- ・社会貢献活動を促進するための「ボランティアポイント制度」を実施
- ・各社員が定めた「私の環境宣言」を記載した EMS カードを配付



(その他のシステム)

- ・環境省による「環境会計ガイドライン」に基づいた環境会計を導入し、環境保全コストとその効果を定量的に把握
- ・環境保護推進団体に加盟し、小中学生が対象の「環境ことわざコンクール」に企業賞を提供し、環境配慮の呼びかけを実施

【地域に貢献する取り組み】



(イベントの参加)

- ・ちよだ環境まつりへの参加
- ・区内一斉打ち水への参加
- ・千代田区一斉清掃活動への参加



(教育・学習による取り組み)

- ・千代田ボランティアクラブへの参加
- ・社会見学や修学旅行等の学生受け入れプログラムの充実
- ・インターンシップを通しての大学生への環境意識啓発



(その他の取り組み)

- ・アルミ缶を分別した回収益による公園内の花壇の管理
- ・エコプロへの参加

千代田区主催

エアコン分解教室を開催しました！

中小既築建築物の省エネ化に対する区の実施計画である「グリーンストック作戦」の一環として、省エネ化の促進および意識啓発に繋げることを目的に区内事業者を対象に開催しました。

当日は主に建物管理に携わるの方々にご参加いただきました。参加者アンケートでは全員の方が「参考になった」と回答。合わせて、ショールーム見学会と省エネセミナーも実施しました。



▲「fuha:TOKYO」の展示の様子

班に分かれてエアコン内部の仕組みの説明を受けながら、ドライバー片手に実際に分解作業に挑戦！

時間の都合で組み立てまでは出来ませんでした。普段は体験できない作業に楽しみながら取り組みました。

感想

室内機だけでなく、次回は室外機の分解もしてみたいです。

ショールーム見学

ダイキンソリューションプラザ「fuha:TOKYO」で、最新の空調機器等を見学！

エアコン分解教室



▲エアコン分解教室の様子

省エネセミナー

省エネ化の必要性や事業所ビルで実施できる省エネ対策等についてわかりやすく解説していただきました。

初期投資が不要ですぐ対策ができる事例の紹介も多くあり、省エネ化をより身近に感じる、実践に役立つ講義となりました。

例えば…

- ①点灯マップを作成して、照明スイッチを細分化！
- ②不必要な時間帯やエリア、過剰照明を消灯！
- ③空調設備稼働時間の短縮！



感想

改めて、省エネについて勉強になりました。定期的に伺いたいと思います。ありがとうございました。

講師：大西技術専門員
(東京都地球温暖化防止活動センター)



▲当日セミナー会場の様子

区の主な施策

地球温暖化・省エネ関連の助成制度

省エネルギー改修等助成制度

一般家庭やマンション共用部、事業所ビル等における省エネルギー改修等を実施した方に、助成金を交付します。(助成を受けるには、工事前の申請が必要となります。)

低炭素建築物助成制度

一定規模の新築等をする際に、一次エネルギー消費量の削減によるCO₂排出量が省エネ基準より35%以上削減された計画を対象に、その建築主の方に、助成金を交付します。

建築物環境計画書制度

区内での一定規模以上の建築物の新築等に際し、省エネ対策など環境配慮について事前協議を実施しています。

ヒートアイランド対策助成制度

区内の建物にヒートアイランド対策(緑化対策、遮熱対策、ドライ型ミスト設置)を実施した方に助成金を交付します。(助成を受けるには、工事前の申請が必要となります。)

省エネルギー改修等助成制度を利用したビルの改修効果例

※建物の規模や改修内容により、効果は異なります。

事業所ビル A

改修項目：LED 照明・空調
建物用途：テナントビル
延床面積：545 m² 築年数：約 40 年

事業所ビル B

改修項目：LED 照明
建物用途：テナントビル
延床面積：1,200 m² 築年数：約 20 年



- ・区助成金交付額 : 80万円
- ・電気料金(年間) : 約50万円削減
- ・CO₂排出量(年間) : 約12.3t-CO₂削減

- ・区助成金交付額 : 100万円交付
- ・電気料金(年間) : 約47万円削減
- ・CO₂排出量(年間) : 約11.5t-CO₂削減

(注) 平成30年度の本制度の申請は締切りましたが、平成31年度も事業を継続する予定です。4月以降、区のホームページ等でご確認ください。

環境関連イベント

区では、多くの事業所の皆さんにご参加いただき、環境配慮の普及・啓発活動を実施しています。

ちよだ環境まつり



- 参加事業所 ※平成30年度
東京ガス(株)
東京電力パワーグリッド(株)
日産緑化(株)
(株)日清製粉グループ本社
(公社)日本騒音制御工学会
メタウォーター(株)
(一社)千代田エコシステム推進協議会

区内一斉打ち水



- 参加事業所 ※平成30年度
(株)キャリアコンサルティング
経団連会館オフィス
(株)ケントク東京本部
三幸(株)
(株)ソニー・ミュージックアクシス
メタウォーター(株)



その他のイベント

・「ちよだ・つま恋の森づくり」
植樹ツアー

- ・セミ羽化観察会 in日比谷公園
- ・生きものさがし観察会 in北の丸公園
- ・エコ&サイクルフェア



・環境作品展



- ・秋の観察会 in北の丸公園
- ・温暖化配慮行動計画書制度表彰式
- ・ちよだ生物多様性大賞表彰式

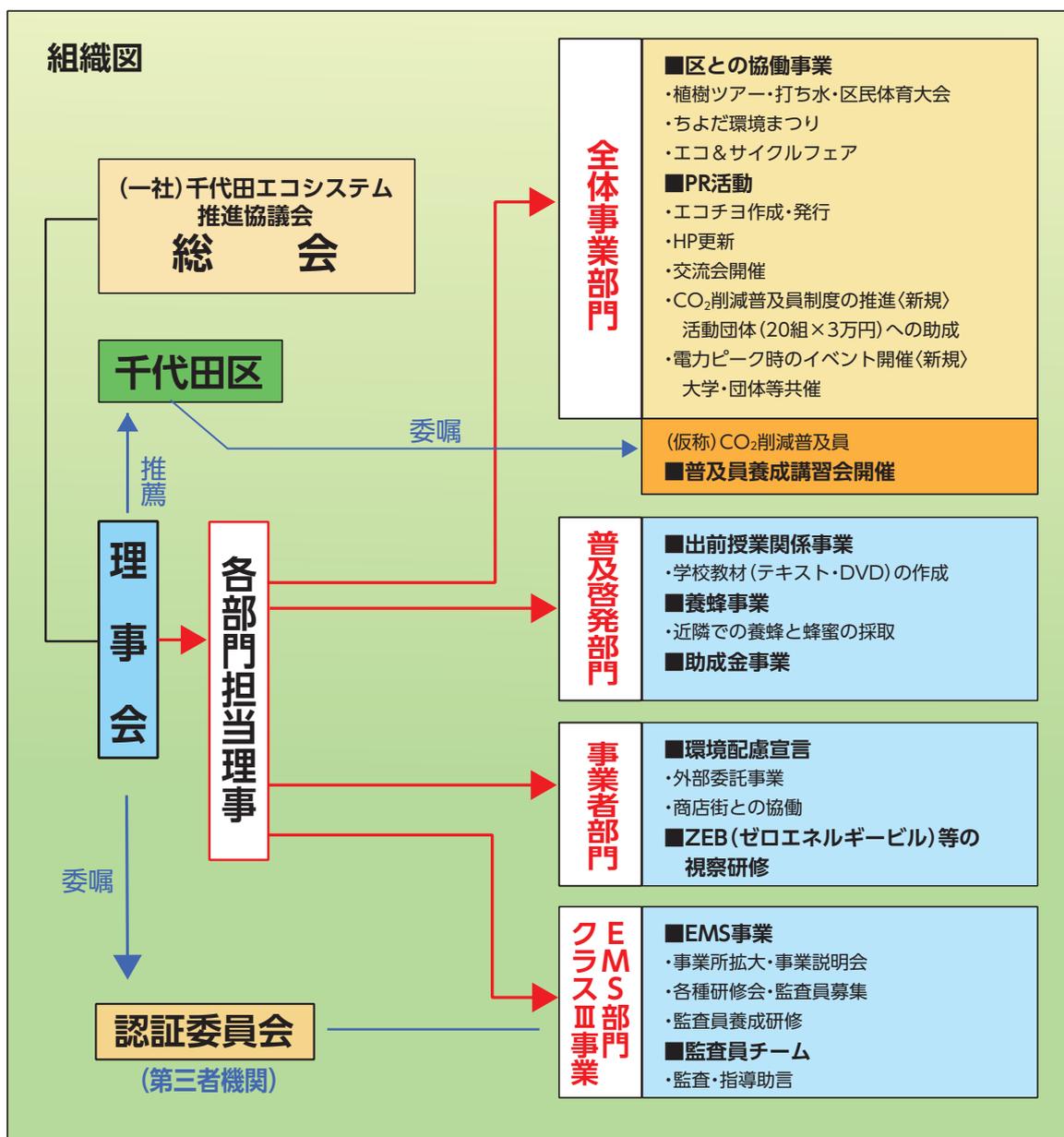
一般社団法人『千代田エコシステム推進協議会』のご紹介

環境マネジメントシステム「千代田エコシステム (CES)」は、千代田区地球温暖化対策条例第13条の規定に基づき、千代田区が独自に構築したものです。これを通じて、区民・企業・教育機関・行政などが協働して、地球温暖化対策や地域の環境改善を推進することを目的に、平成20年4月に任意団体「千代田エコシステム推進協議会」が設立されました。その後、より活動範囲を広げるため、法人格を取得し、平成28年4月『一般社団法人 千代田エコシステム推進協議会』となりました。

当協議会では、この「千代田エコシステム (CES)」を、より一層、千代田区内で推進するため、以下のような事業を行っています。

- ①地球環境の保全または自然環境の保護及び整備を目的とする事業
- ②千代田エコシステム等環境マネジメントシステムの運用及び推進
- ③環境教育等による人材育成
- ④その他地球温暖化対策に寄与する事業 など

千代田のエコを推進しよう！



(一社)千代田エコシステム推進協議会の活動に参加してCO₂削減に取り組みませんか？



(一社)千代田エコシステム推進協議会では、区に関わる人や組織が取り組みやすい環境マネジメントシステム「千代田エコシステム(CES)」を普及・啓発しています。

千代田CES



で検索！

参加する

CO₂削減について学び、考えていただくための各種イベントや講座に参加する



登録会員になって情報を受け取る。

* 登録会員の会費は無料です。

メールまたはFAXにてご案内をお送りします。お名前・ご住所・ご連絡先(メールアドレスまたはFAX番号)を明記の上、下記までご連絡ください。

■メール: info@chiyoda-ces.jp
■FAX: 03-3221-3405

クラスⅢを導入する

千代田区独自の環境マネジメントシステム(クラスⅢ)へ参加し、監査と認証を受ける



ISO14001よりも安価で簡単に運用できる環境マネジメントシステムです。

お見積り等、お気軽にご相談ください！

■TEL: 03-5211-5085
■メール: info@chiyoda-ces.jp

会員になる

(一社)千代田エコシステム推進協議会の活動を支え、一緒に運営する会員になる



会員募集中です！

区分	正会員	賛助会員
教育期間	60,000円	30,000円
企業(資本金1億円以上)	60,000円	30,000円
企業(資本金1億円未満)	20,000円	10,000円
上記以外の団体	10,000円	5,000円
個人	2,000円	1,000円

■会員 (2019年1月時点、敬称略・順不同)

【企業】三菱地所株式会社、株式会社大塚商会、東京電力パワーグリッド株式会社銀座支社、東京ガス株式会社中央支店、東洋美術印刷株式会社、株式会社東畑建築事務所、前田建設工業株式会社、株式会社小学館集英社プロダクション、徳和FPカレント、株式会社ユニパック、株式会社林事務所 **【教育機関】** 学校法人日本歯科大学、学校法人法政大学、学校法人専修大学、学校法人明治大学、学校法人大妻学院、学校法人二松学舎、学校法人東京家政学院 **【団体】** 東京商工会議所千代田支部、千代田区商店街連合会、千代田区連合町会長協議会、公益財団法人まちみらい千代田、2×3スリーレッグ、千代田区商店街振興組合連合会、神田駅西口商店街振興組合、ちよだ@森の配達人、千代田区 **【個人】** 94名

(一社) 千代田エコシステム推進協議会

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1 千代田区役所5階

TEL : 03-5211-5085 FAX : 03-3221-3405

メール : info@chiyoda-ces.jp

本冊子へのご意見
ご感想はこちらまで
お寄せください

千代田区環境まちづくり部環境政策課

住 所：〒102-8688 千代田区九段南1-2-1 千代田区役所5階
電 話：03-5211-4253 (事業推進係) F A X：03-3264-8956
メー ル：kankyouseisaku@city.chiyoda.lg.jp



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。